



keep reinventing

# HPのセキュリティイノベーション と米国事例に学ぶデバイス調達戦略

Boris Balacheff,  
HP Fellow & VP,  
Chief Technologist for Security Research and Innovation

東京 2018年9月14日



# サイバーセキュリティは 破壊的な力を持つ

2021年に  
世界のサイバー犯罪  
は**6兆ドルの問題**  
となる<sup>1</sup>

2016年に世界で  
**1,700件以上の**  
**重大な情報漏洩**  
があった<sup>1</sup>

<sup>1</sup><https://www.csoonline.com/article/3153707/security/top-5-cybersecurity-facts-figures-and-statistics-for-2017.html>

# サイバーセキュリティの 課題

攻撃者は  
進化している

攻撃の  
洗練度は  
向上している

問題は攻撃が成功するかどうかではなく、  
いつ成功するかということである



# エンドポイントデバイスは 防衛の最前線



エンタープライズ  
データセンターや  
クラウドサービス

# エンドポイントデバイスセキュリティ の2つのポイント

## セキュアなデバイス

理想的:

最新の脅威に  
対応した最先端の  
ハードウェア設計

最低限:

最新のセキュリティ  
標準への対応



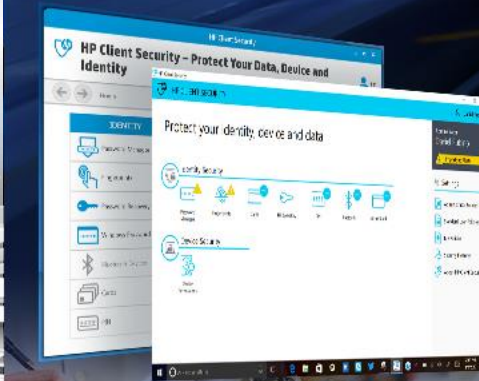
## デバイスセキュリティの管理

適切なソフトウェアで

- 安全な展開とプロビジョニング
- 継続的な管理とモニタリング
- エンフォースとコンプライアンス違反への対応

適切なエクスペリエンス

- デバイスのセキュリティ状態の把握
- コンプライアンスの管理とモニター
- セキュリティ・インシデントの分析、検知、対応



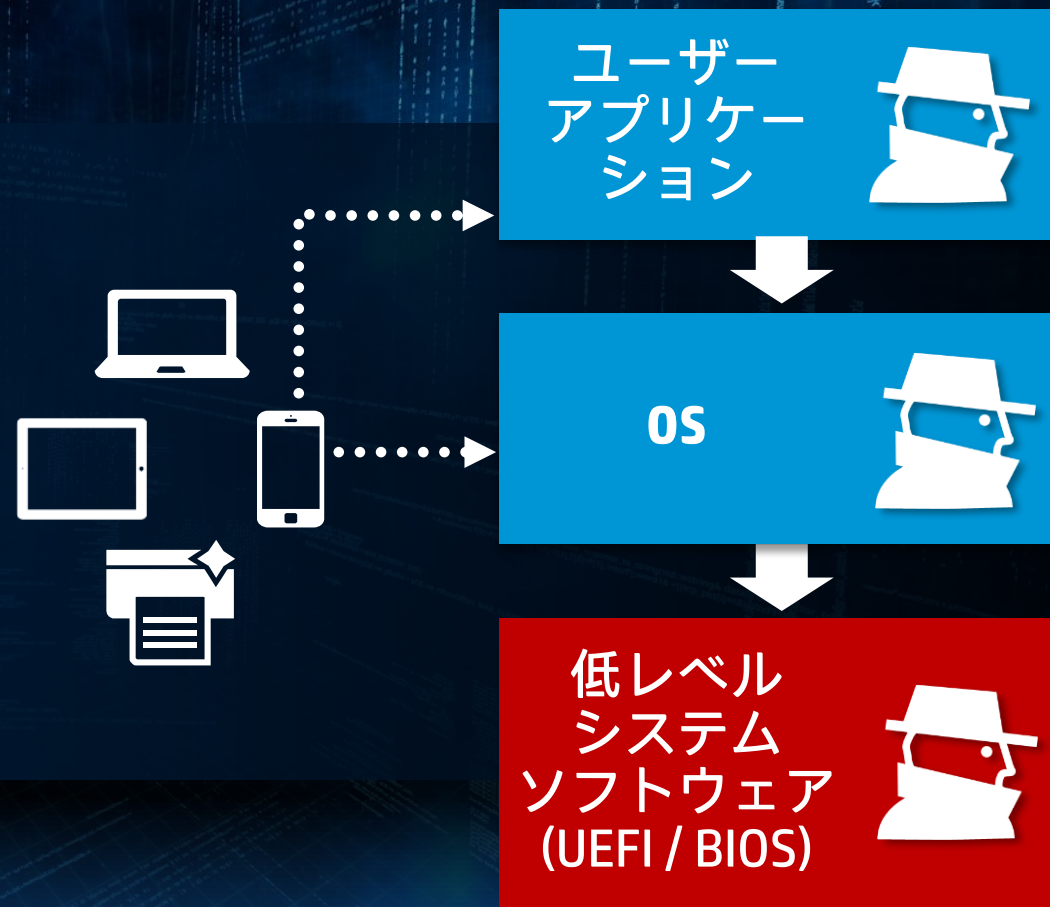


# エンドポイントセキュリティの 脅威の現状

# 攻撃の経済性と 最近のマルウェアの傾向

## 攻撃者のエントリーポイント

- 人的攻撃
- ネットワーク経由の攻撃
- 物理アクセス 経由の攻撃



# BIOS Root Kit の例

## “Hacking Team” マルウェア



…セキュリティの研究者グループは  
“Hacking team” がRCS（リモートコントロールシステム）エージェントをターゲットシステムにインストールする際にUEFI BIOS Rootkitを利用していることを発見した。  
<http://thehackernews.com/2015/07/hacking-uefi-bios-rootkit.html>

## Mebromi



…Trojan.Mebromi という脅威はAward BIOSに悪意のあるコンポーネントを追加し、MBRの前段階からシステムの制御を奪うことを可能にする。  
<http://www.symantec.com/connect/blogs/bios-threat-showing-again>



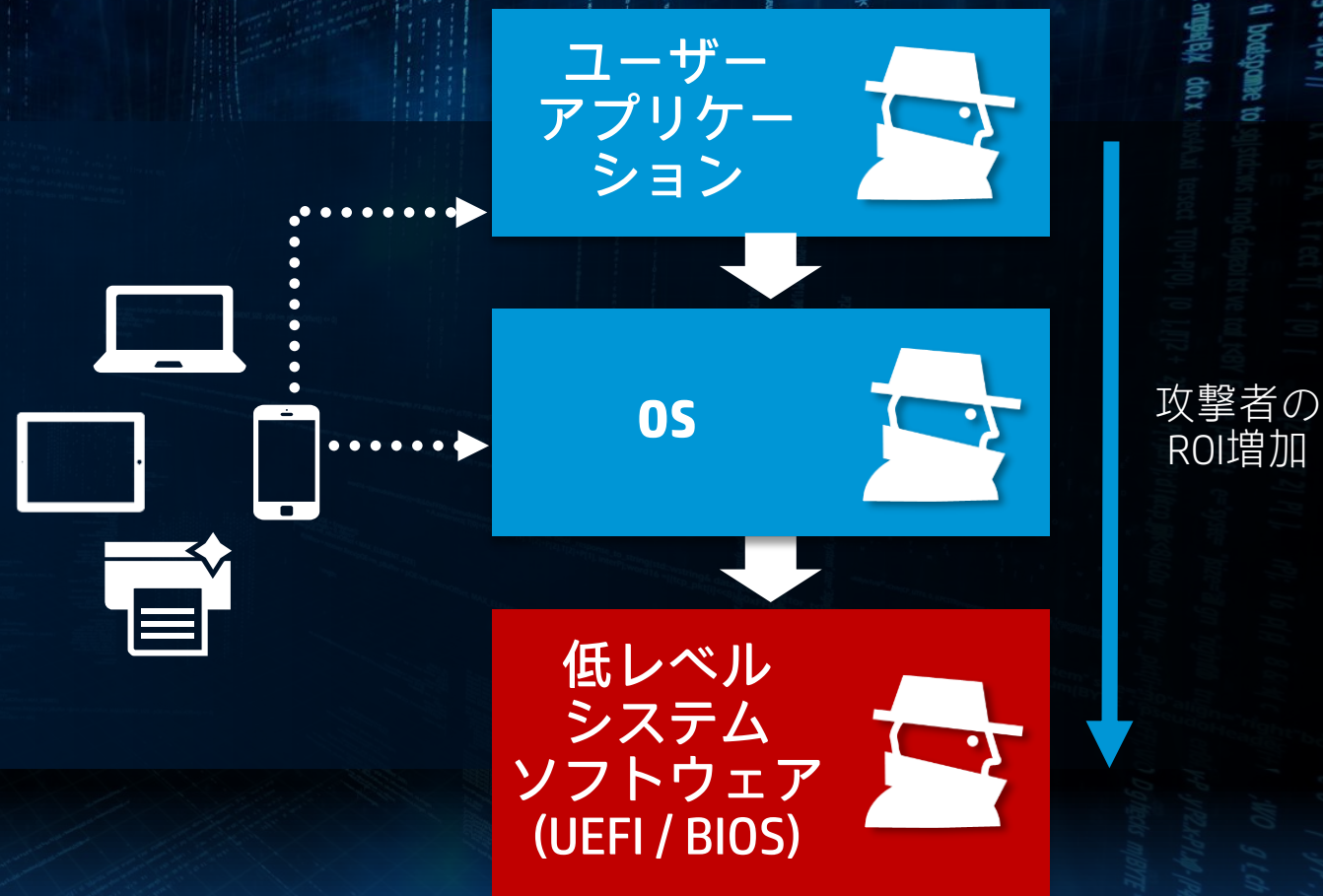




# 攻撃の経済性と 最近のマルウェアの傾向

## 攻撃者のエントリーポイント

- 人的攻撃
- ネットワーク経由の攻撃
- 物理アクセス 経由の攻撃





# 新たな攻撃対象になってきた 接続されたデバイス

## 容易なセキュアでない プリンターのハッキング

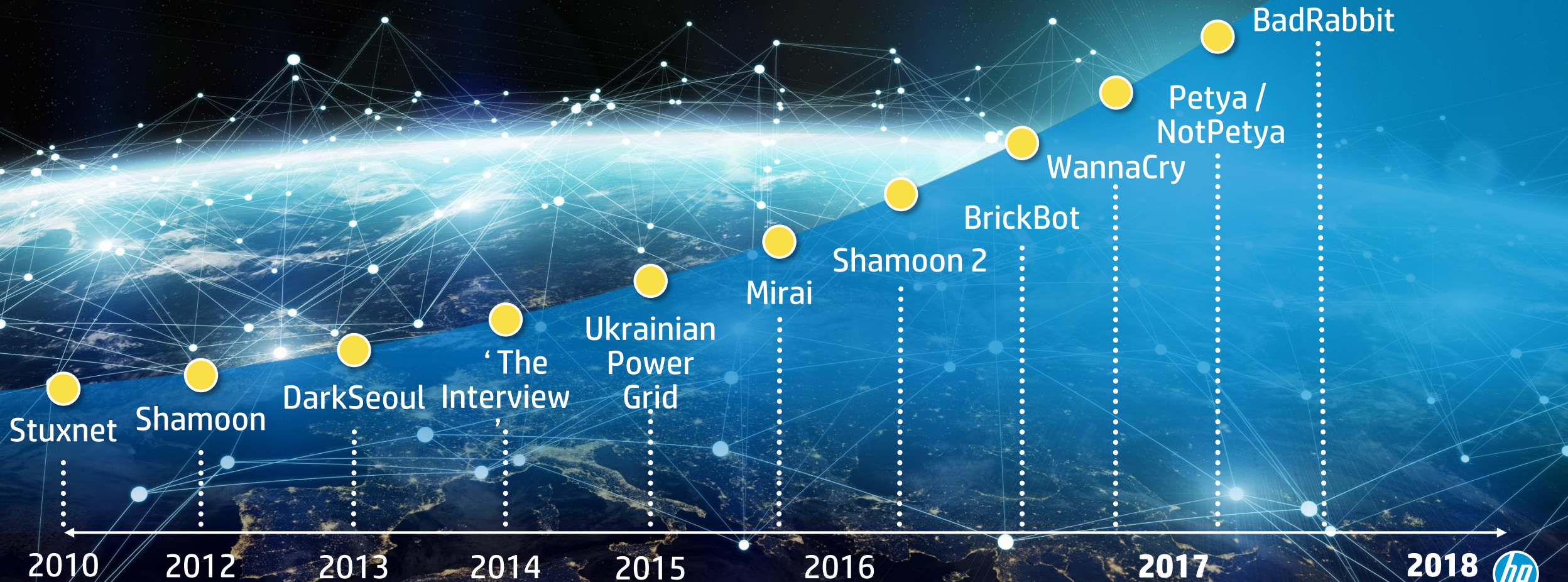
“我々はプリンターを最初の足掛かりとして多くの企業に侵入してきた。プリンターから始めてActive Directoryを探し出し、プリンターのアカウントで検索をかけると、見つかった！宝の山だ…”

PETER KIM

業界トップの侵入テスター、ハッカー、著者



# 新しいトレンドとなった 破壊的攻撃





これらのトレンドが何を意味し  
我々は何ができるのか？



# サイバーレジリエンスのための設計 ハードウェアから サイバーセキュリティを創りこむ

ソフトウェア/ネットワーク  
セキュリティは

**十分ではない**

**ハードウェア**

からスタートすべき





# HPのH/Wにより強制されたサイバーレジリエンス



HP Sure Click

H/Wがセキュアなソフトウェアの隔離をサポート  
(安全なブラウジングと文書の扱いのため)

HP Sure Run

H/WでキーとなるセキュリティS/Wの永続性を  
監視し強制する

HP Sure Recover

H/Wベースの安全なフルOSリカバリ  
(ローカルorネットワーク経由)

HP Sure Start

H/Wでファームウェアの完全性の侵害を検知  
し自己回復

専用のセキュリティH/W  
(第三者機関で認定)





# デバイスの選択は セキュリティの意思決定である





# HPのエンドポイントにおける セキュリティリーダーシップ





# デバイスセキュリティの要件を定義する

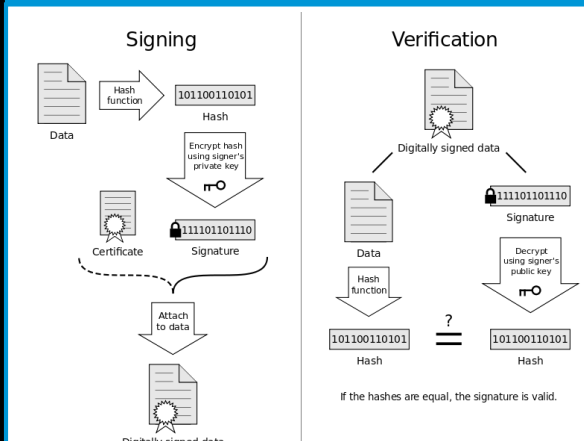
- 最低限：デバイスセキュリティの標準
  - SP 800-147 (ISO 19678) – BIOSのセキュリティ
  - SP 800-193 – プラットフォームファームウェアのレジリエンス
  - SP 800-88 – セキュアイレース
  - TCG のTrusted Platform Module (ISO 11889)
  - H/Wのルート・オブ・トラストに第三者機関による認定を要求する
- 理想的：最新の脅威に対応する
  - 標準以上
  - NIST CyberSecurity FrameworkとNIST SP800-53を用いて最新のセキュリティの導入を検討する



# PC BIOSセキュリティのためのNIST SP800-147

NIST Special Publication  
800-147  
2011年4月

## 正真性



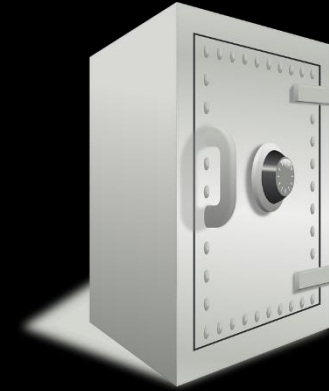
暗号技術で  
署名されたコード

## 完全性



意図しないあるいは  
悪意のある変更から  
の保護

## 非バイパス性



認証されたアップ  
デートプロセス

**NIST**  
National Institute of  
Standards and Technology  
U.S. Department of Commerce

Special Publication 800-147

## BIOS Protection Guidelines

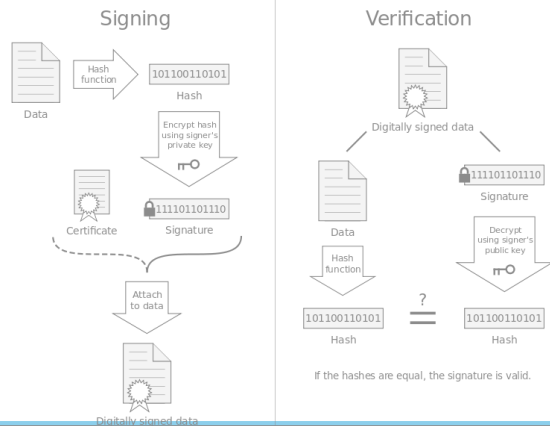
Recommendations of the National Institute  
of Standards and Technology

David Cooper  
William Polk  
Andrew Regenscheid  
Murugiah Souppaya

または  
ISO/IEC 19678:2015

# ファームウェアレジリエンスのための 新ガイドラインNIST SP800-193

## 正真性



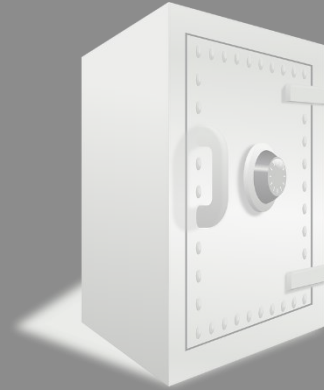
暗号技術で  
署名されたコード

## 完全性



意図しないあるいは  
悪意のある変更から  
の保護

## 非バイパス性



認証されたアップ  
デートプロセス

## 検知 & 復旧



セキュアで自動化され  
大規模に対応する  
検知 & 回復



# NIST Cybersecurity Framework とSP 800-53の利用

## デバイスセキュリティを全社的サイバーセキュリティ獲得に活用する

### 特定(ID)

システム、資産、データ、機能に対するサイバーセキュリティリスクの管理に必要な理解を深める。

### 防御 (PR)

重要インフラサービスの提供を確実にするための適切な保護対策を検討し、実施する。

### 検知 (DE)

サイバーセキュリティイベントの発生を検知するための適切な対策を検討し、実施する。

### 対応 (RS)

検知されたサイバーセキュリティイベントに対処するための適切な対策を検討し、実施する。

### 復旧 (RC)

レジリエンスを実現するための計画を策定・維持し、サイバーセキュリティイベントによって阻害されたあらゆる機能やサービスを復旧するための適切な対策を検討し、実施する。

ファームウェアやハードウェアの完全性の予防、検知、復旧の重要性は複数のセキュリティ対策に及び（PR-DS6、PR-DS8、...）、その具体的対策はSP800-53に記述されている。

## SP 800-53 SI-7 ソフトウェア・ファームウェア・情報の完全性

SI-7 (1)ソフトウェア、ファームウェア、および情報の完全性 | 完全性チェック

→ SI-7 (2)ソフトウェア・ファームウェア・情報の完全性 | 完全性違反の自動通知

SI-7 (5)ソフトウェア、ファームウェア、および情報の完全性 | 自動化された、完全性違反に対する対応

SI-7 (7)ソフトウェア、ファームウェア、および情報の完全性 | 検知と対応の一体化

セキュリティは文化



# 将来の脅威は さらなる研究を必要とする



# まとめ

- 低レベルのデバイスのファームウェアへの攻撃が増加
- デバイスの選択はセキュリティの意思決定である
- 新しいデバイスのハードウェアとファームウェアはこれからの脅威に備えるためにレジリエントであるべき
- デバイスの調達にはセキュリティの要件を含むべき
  - 最低限のレベルはセキュリティ標準への準拠
  - 理想的レベルは最新の脅威に対応可能なセキュリティ



ありがとうございました

